



第61期 中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで

Compliance
Ecology Innovation



サンメッセ株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。さて、当社第61期上半期(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)の中間決算を行いましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

平成17年12月



代表取締役社長

田中良孝

CONTENTS

株主の皆様へ	1	Sun Messe News	7
営業の概況	2	株式の情報	9
業績の推移	3	会社の概況	10
製品部門別の概況	4	株主メモ	10
財務の状況			
中間貸借対照表	5		
中間損益計算書	6		

創業の原点に返り、業績の向上に努めます。

売上高 65億82百万円(前中間期比 1.8%減)

経常利益 1億68百万円(前中間期比 42.1%減)

中間純利益 85百万円(前中間期比 -)

当中間期におけるわが国経済は、原油価格の高騰などの懸念材料はありましたが、企業収益の回復や設備投資の増加などにより景気は踊り場を脱却し、回復基調で推移しました。また、雇用環境の改善や、愛知万博「愛・地球博」の開催などの効果もあり、個人消費の持ち直しもみられるようになりました。

印刷業界におきましては、景気回復基調にもかかわらず、熾烈な競争・競合により厳しい状況が続きました。また、個人情報保護法の施行による個人情報の厳格な管理の必要性や、原材料高などコストの上昇要因もあり、利益の確保が容易でない経営環境にありました。

当社は、このような情勢のなかで、「心・技・体の充実で一流を目指そう！」を会社の年度方針として、法令順守・技術力向上・現場重視の事業展開を図りました。また、個人情報につきましても、より充実した管理体制を整備しました。製造部門におきましては、外注比率を低下させるため内製(自社製造)化比率アップを図りました。

売上の部門別では、当社の主力分野である一般商業印刷物は、マルチメディア関連製品は前中間期を下回りましたが、カタログ・ダイレクトメールや折込広告などが前中間期を上回ったため49億47百万円(前中間期比100.9%)と増収となりました。出版印刷物は10億60百万円(前中間期比87.3%)と大幅な減収となりました。包装印刷物は5億74百万円(前中間期比99.0%)と減収となりました。

利益面におきましては、売上総利益率が前中間期と比べて低下し、売上高も減少したため、売上総利益が減益となり、販売費及び一般管理費も増加したため、経常利益は大幅な減益となりました。しかし、前中間期は「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用したため、中間純損失を計上しておりますので、中間純利益は増益となりました。

以上の結果、売上高は65億82百万円と前中間期に比べて1.8%の減収となり、利益面におきましては、経常利益は1億68百万円と前中間期に比べて42.1%の減収となりましたが、中間純利益は85百万円と前中間期に比べて10億64百万円の増益となりました。

なお、当中間期の配当金につきましては、11月24日開催の取締役会におきまして、1株につき6円と決めさせていただきます。

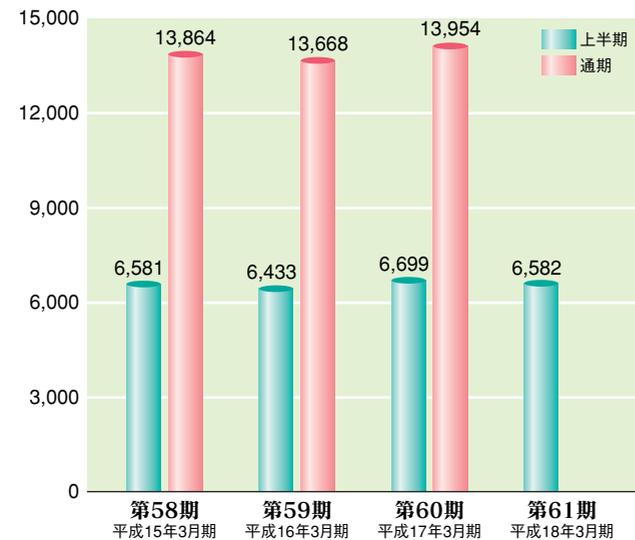
今後の見通しにつきましては、企業業績の回復が、雇用、所得環境の改善を通じて徐々に家計部門に波及してゆくと期待されます。

当社といたしましては、創業70周年にあたり、創業の原点に返り、業績の向上に努めます。また、10月1日に三重県桑名市に開設しました三重支店を一日も早く軌道にのせ、業績に寄与できるようにしたいと考えております。

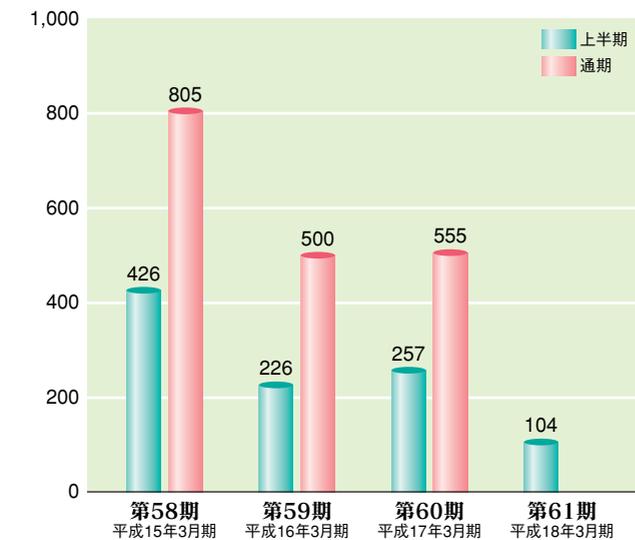
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績の推移

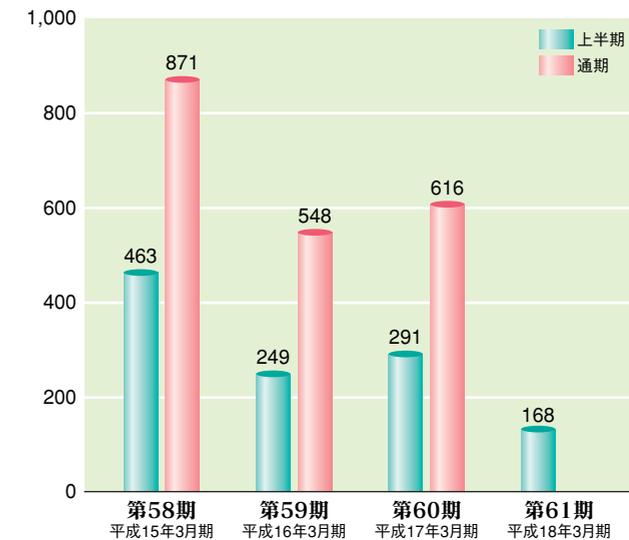
売上高 (単位/百万円)



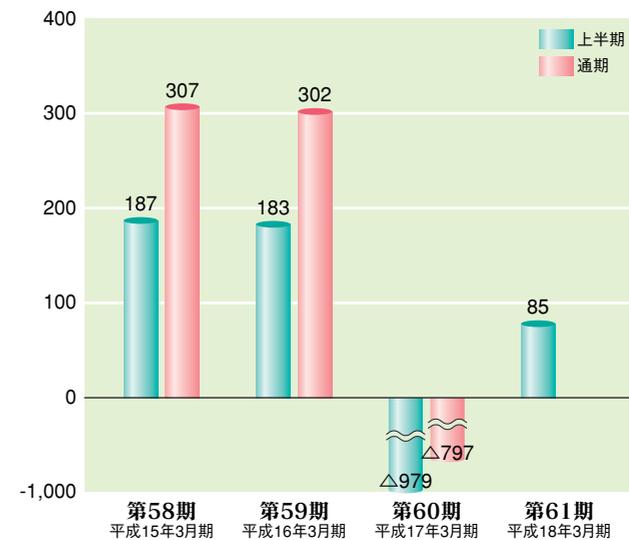
営業利益 (単位/百万円)



経常利益 (単位/百万円)



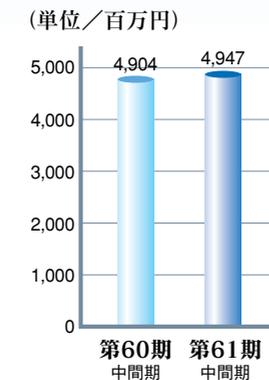
当期純利益 (単位/百万円)



製品部門別の概況

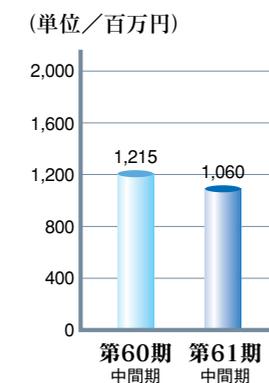
商業印刷

商業印刷物は、景気回復基調により、企業の広告宣伝費が増加傾向にありました。このような中で、当社は新規顧客の拡大、販促支援活動を積極的に展開し、折込広告、カタログ・ダイレクトメールなどが増加し、売上は前中間期を上回りました。



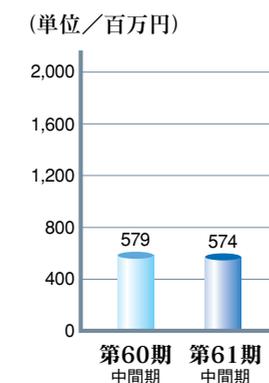
出版印刷

出版印刷物は、出版市場の低迷、受注規模の縮小により、引き続き厳しい状況が続きました。このような中で、当社は得意先に対するサービスの向上と短納期を図りましたが、取扱説明書等の頁物が減少し、売上は前中間期を下回りました。

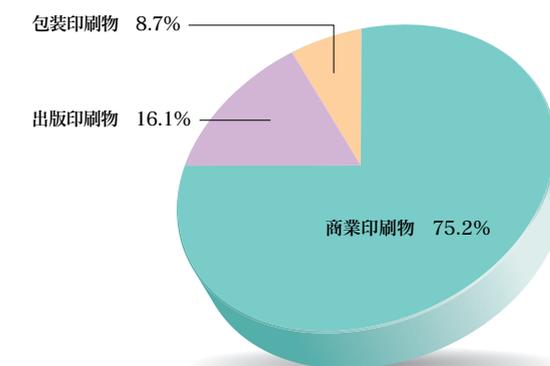


包装印刷

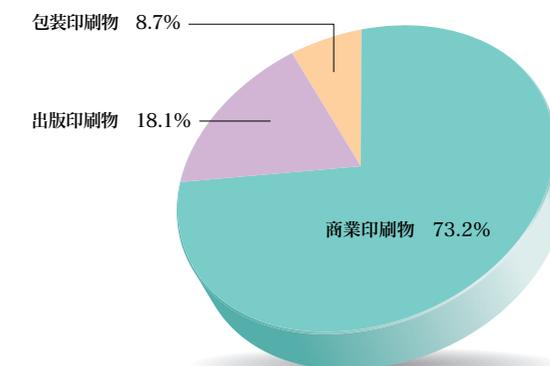
包装印刷物は、個人消費の持ち直しが見られるものの、軽量化、省包装化が進み、市場全体が縮小しております。このような中で、当社は積極的な営業活動を行いました。パッケージなどが増加したものの、包装紙・袋物が減少し、売上は前中間期を下回りました。



売上高構成比



第61期中間期



第60期中間期

中間貸借対照表

科目	第61期中間期	第60期中間期
	(平成17年9月30日現在)	(平成16年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	5,596,447	5,313,774
現金及び預金	1,461,236	1,162,072
受取手形	1,078,368	1,058,386
売掛金	2,213,518	2,205,250
たな卸資産	598,055	669,676
繰延税金資産	201,000	209,000
その他	83,622	66,709
貸倒引当金	△ 39,354	△ 57,322
固定資産	12,401,793	12,174,124
有形固定資産	8,718,920	9,159,289
建物	2,320,092	2,469,137
機械及び装置	2,347,694	2,603,204
土地	3,846,332	3,886,396
その他	204,800	200,552
無形固定資産	55,563	45,685
投資その他の資産	3,627,309	2,969,149
投資有価証券	3,301,627	2,336,180
繰延税金資産	111,000	380,000
その他	456,928	471,884
貸倒引当金	△ 242,246	△ 218,915
資産合計	17,998,241	17,487,898

(単位/千円)

科目	第61期中間期	第60期中間期
	(平成17年9月30日現在)	(平成16年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	4,832,510	5,670,011
支払手形	558,171	574,206
買掛金	1,189,055	1,212,762
短期借入金	1,760,000	2,660,000
一年内返済長期借入金	200,000	50,000
未払法人税等	104,000	130,000
賞与引当金	366,000	386,000
その他	655,283	657,043
固定負債	2,312,247	1,677,233
社債	600,000	—
長期借入金	50,000	200,000
退職給付引当金	1,423,045	1,262,929
役員退職慰労引当金	223,912	198,897
その他	15,289	15,406
負債合計	7,144,757	7,347,245
資本の部		
資本金	1,236,114	1,236,114
資本剰余金	1,049,534	1,049,534
利益剰余金	7,975,127	7,827,157
株式等評価差額金	999,778	438,601
自己株式	△ 407,073	△ 410,754
資本合計	10,853,483	10,140,653
負債・資本合計	17,998,241	17,487,898

中間損益計算書

科目	第61期中間期	第60期中間期
	(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)	(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高	6,582,218	6,699,922
売上原価	5,222,426	5,251,834
販売費及び一般管理費	1,255,481	1,190,548
営業利益	104,309	257,539
営業外損益の部		
営業外収益	95,255	67,900
受取利息及び配当金	28,323	17,326
その他	66,932	50,573
営業外費用	30,600	33,518
支払利息	15,766	17,463
その他	14,834	16,054
経常利益	168,964	291,922
特別損益の部		
特別利益	4,378	17,010
投資有価証券売却償還益	0	11,021
その他	4,378	5,989
特別損失	27,110	1,150,807
固定資産売却廃棄損	18,611	11,235
減損損失	—	1,116,235
その他	8,499	23,335
税引前中間純利益	146,232	△ 841,874
法人税、住民税及び事業税	96,273	119,591
法人税等調整額	△ 35,216	18,073
中間純利益	85,176	△ 979,538
前期繰越利益	276,305	881,746
自己株式処分差損	1,303	—
中間未処分利益	360,178	△ 97,792

(単位/千円)

注記事項

1.重要な会計方針

- 有価証券の評価基準および評価方法
 - 時価のあるもの 中間期末日の市場価格等に基づく時価法
 - 時価のないもの 移動平均法による原価法
- たな卸資産の評価基準および評価方法
 - 製品及び仕掛品 個別法による原価法
 - 原材料 総平均法による原価法
 - 貯蔵品 最終仕入原価法による原価法
- 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産 法人税法に規定する方法と同一の基準による定率法
平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法
 - 無形固定資産 法人税法に規定する方法と同一の基準による定額法
- 引当金の計上基準
 - 貸倒引当金は、債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。
 - 賞与引当金は、従業員の賞与の支払に備えるため、支給見込額を計上しています。
 - 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、期首において算定した当期末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当中間期末において発生していると認められる額を計上しています。
 - 役員退職慰労引当金は、役員退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金内規に基づく中間期末要支給額を計上しています。
- 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 中間貸借対照表関係の注記

- 有形固定資産の減価償却累計額 10,537,366千円
- 担保に供している資産

建物	588,438千円
土地	2,137,391千円
投資有価証券	679,200千円

※記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

●三重県へ初進出

10月1日、当社9番目の営業拠点「三重支店」を新設し、業務を開始いたしました。本社営業部（岐阜県大垣市）の営業エリアに隣接する三重県は、今まで市場開拓を行ってきませんでした。新たな売上を獲得するため昨年より営業展開を図り、売上も徐々に伸びてきております。そこで、三重県桑名市に営業拠点を築き、お客様にはきめ細やかなサービスの提供をし、業績向上を目指します。また、三重県北部を中心に伊勢方面までを営業エリアに新規顧客獲得を図ります。

〈三重支店 住所〉〒511-0045 三重県桑名市伝馬町15-2
TEL 0594-27-5311



●高山市荘川支所のDVD-ROM「荘川の獅子舞教室」が総務大臣賞を受賞



受賞作品「荘川の獅子舞教室」と授与された盾

9月29日に行われた「第3回全国地域映像コンクール」(主催:地域文化デジタル化推進協議会 後援:総務省、文化庁、NHK)で高山市荘川支所の「荘川の獅子舞教室」DVD-ROM(サンメッセ制作)が総務大臣賞を受賞いたしました。昨年受賞した羽島市の「平方勢獅子」DVD-ROMに続き、2年連続の受賞です。

この作品は、荘川村(現在の荘川町)内の6地区(神社)に伝わるそれぞれルーツの異なる獅子舞を動画で記録し、学術的な解説を加えたもので、民俗芸能学的に大変価値のある映像作品との評価を得ました。高山市への合併を控えていた荘川村の貴重な民俗芸能の映像資料として活用されています。



●「三代記 サンメッセを率いた三人の群像」発行

「三代記 サンメッセを率いた三人の群像」は、平成15年10月から平成16年3月末まで、中部経済新聞に「印刷三代記」として連載されたものを、当社創業70周年の記念すべき年に中部経済新聞社様のご協力のもと、1冊の「歴史」としてまとめました。

この三代記は、当社の歴史でもあり、皆様への感謝の歴史を綴ったものでもあります。

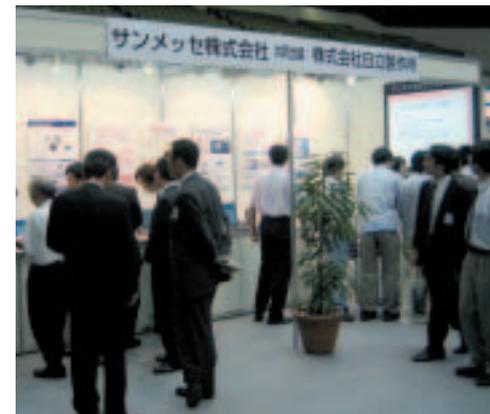


●「IT CITY MESSE in GIFU」&「河川環境メッセin岐阜」に共催

7月14日、15日、「IT活用による魅力ある都市づくり・まちづくりの実践」をテーマに、岐阜県主催、当社と(株)プロプラン共催による「第6回全国都市づくり先進情報技術展 IT CITY MESSE in GIFU」が開催されました。このイベントは、都市づくりに関連する情報技術の研究成果、最新動向、製品情報などを紹介するとともに、それらに関わる行政関係者や研究者の情報交流を図ることを目的に毎年開催されています。

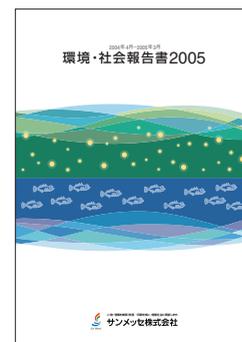
当社は(株)日立製作所様と共同出展し、「Vaad(バアド)」やe-Learningシステム、また最先端の印刷技術の紹介を行いました。「Vaad」とはValue Added Advertising(付加価値広告)の略で、当社オリジナルのアイデアがベースになった※RFタグを利用して印刷物に個人情報認証情報を与えるための技術です。開催当日は、会場デモンストレーションを行い、多数の来場者が興味深く説明を聞かれました。※RF(Radio Frequency)タグとは、電波によりICチップ内の情報を無線で送信する札(タグ)のこと。愛・地球博の入場券にも活用されており、さまざまな分野での応用が期待されています。

また、同日隣接会場で「河川環境メッセin岐阜」が開催されました。これは、岐阜県が進める「自然の水辺復活プロジェクト」の一環である「自然共生型川づくり」に関心をもち、研究開発を進めている企業や学校等が日ごろの取り組みや研究成果を広く発表することによって、より良い河川環境づくりを推進することを目的に開催されています。

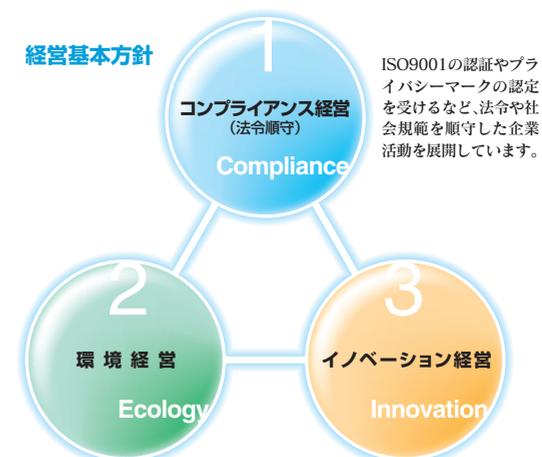


●環境・社会報告書2005発行

当社は、「コンプライアンス経営」「環境経営」「イノベーション経営」を経営の基本方針としています。この基本方針の内容を中心にさらにサンメッセをご理解いただくために、今年度より「環境マネジメント活動報告書」改め「環境・社会報告書」(2004年4月1日～2005年3月31日)として発行することといたしました。今回は、これまでの報告書では紹介されていなかったCSR活動・社内教育なども含め、できるだけ多方面から当社の活動を理解していただきたいと考えました。内容的にも紙面的にも十分ではありませんが、今後はさらに充実させ、サンメッセをより理解していただく報告書を目指していきます。



報告書に関する問い合わせ先
サンメッセ株式会社 中工場 ISO推進室
〒503-0993 大垣市荒川町423
TEL(0584)92-2111
この「環境・社会報告書2005」は、
当社ホームページ
<http://www.sunmesse.co.jp/> に掲載しています。



経営基本方針

1
コンプライアンス経営
(法令順守)
Compliance

ISO9001の認証やプライバシーマークの認定を受けるなど、法令や社会規範を順守した企業活動を展開しています。

2
環境経営
Ecology

ISO14001の認証取得に満足することなく、地球環境に配慮した印刷の実現や可能性の追究を続けています。

3
イノベーション経営
Innovation

“印刷”を核に新しい技術にも取り組み、技術革新を進めています。

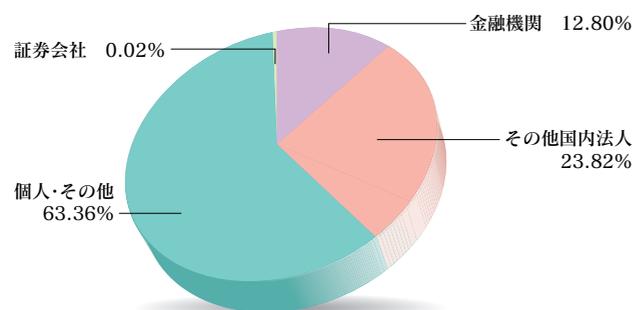
株式の情報

株式の状況 (平成17年9月30日現在)

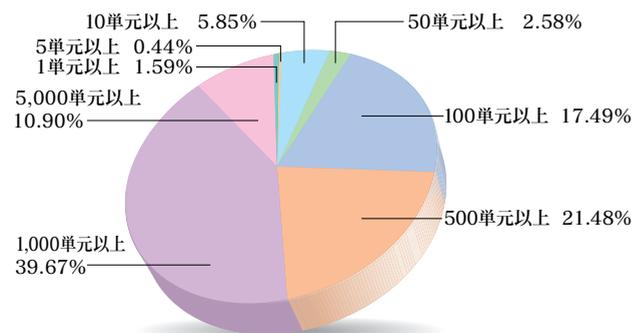
- ①会社が発行する株式の総数 30,000,000株
- ②発行済株式の総数 8,912,525株
- ③株主数 1,415名

(注)平成17年11月18日付をもって1株を2株に分割し、会社が発行する株式の総数は60,000,000株に、また発行済株式の総数は17,825,050株となっております。

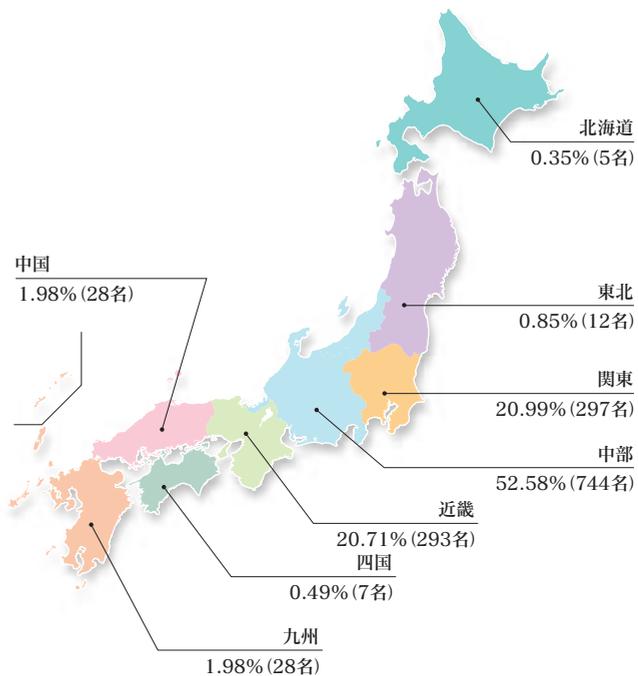
株式分布状況
所有者別株式分布状況



所有数別株式分布状況

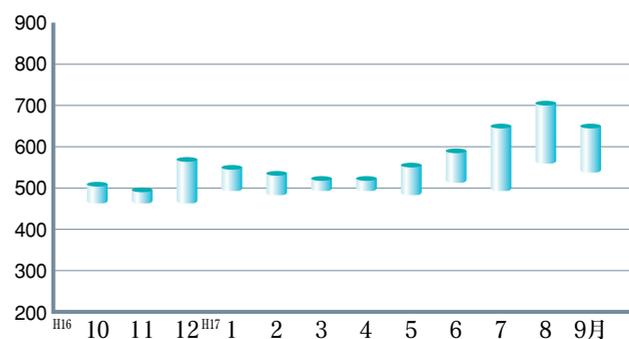


地域別株主数



(注)その他に保管振替機構名義株式が1名(0.07%)あります。

株価推移 (単位/円)



(注)株価は、株式分割による調整を反映させたものとなっております。

会社の概況

会社概要 (平成17年9月30日現在)

商号 サンメッセ株式会社
 設立 昭和21年9月20日
 資本金 1,236,114千円

主要な事業内容

各種印刷、製本およびこれに関する総合印刷業務。得意先の希望する印刷物を企画、デザイン、製版、印刷、製本のみならず、トムソン加工、製袋、表面加工等に至るまで設備を装備し一貫生産。またCD-ROM・DVD-ROMタイトルの作成、インターネットのホームページ制作、デジタルアーカイブ作成等、マルチメディア製品の企画開発。

本社および事業所

- 本社 岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1
- 支店 東京支店(東京都江東区)
- 赤坂支店(東京都港区)
- 大阪支店(大阪市中央区)
- 名古屋支店(名古屋市中区)
- 岡崎支店(愛知県岡崎市)
- 愛岐支店(愛知県一宮市)
- 岐阜支店(岐阜県岐阜市)
- 三重支店(三重県桑名市) 10月1日開設

研究所 サンメッセ情報館(岐阜県大垣市)
 工場 本社工場(大垣市)・中工場(大垣市)・西工場(大垣市)
 系列会社 日本イベント企画株式会社(岐阜県岐阜市)

従業員の状況

従業員数	前中間期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
736名	-	35.2歳	14.1年

(注)上記の従業員数には、他社への出向者10名、嘱託17名、パート168名は含まれておりません。

主要な借入先 (単位/借入額 百万円 持株数 千株 議決権比率%)

借入先	借入額	持株数	議決権比率
株式会社大垣共立銀行	600	428	4.98
株式会社十六銀行	300	99	1.15
株式会社UFJ銀行	200	88	1.02
株式会社みずほ銀行	200	66	0.76
株式会社三井住友銀行	200	-	-

役員

- 取締役社長※ 田中良幸
- 専務取締役※ 田中勝英 管理本部長
- 専務取締役※ 田中義一 営業本部長
- 取締役 浅野宣久 監査室長
- 取締役 北川松男 製造本部長
- 取締役 木村伸男 東京支店長
- 常勤監査役 吉野銚城
- 監査役 内藤保彦 税理士
- 監査役 藤塚清治 税理士
- 監査役 加藤文夫 税理士

※は、代表取締役であります。

株主メモ

- 決算期 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 毎年3月31日(定時株主総会議決権行使株主確定日)
- 公告掲載新聞 日本経済新聞
- 貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス <http://www.sunmesse.co.jp/kessan/index.html>
- 名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号(〒460-8685) 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 052-262-1520(代表)
- 同事務取次所 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

(お知らせ)

- ・株券を喪失した場合は公示催告による除権判決を受けて再発行する取扱いでしたが、商法改正により、株券は新たに創設された「株券失効制度」により再発行を受けることとなります。お手続きの詳細につきましては名義書換代理人あてご照会下さい。
- ・住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求、配当金振込指定に必要な用紙のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル及びインターネットのホームページで24時間受付しております。
- 受付フリーダイヤル 0120-87-2031
- ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

Compliance Ecology Innovation

「コンプライアンス経営・環境経営・イノベーション経営」

当社は、「お客様を一番に考える。」ことを目指し、3つのキーワードで企業経営を行っています。



人・物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

サンメッセ株式会社

サンメッセ・ホームページアドレス
<http://www.sunmesse.co.jp/>



JQA-EM1779
本社・本社工場
中工場・西工場



JQA-QM3742
本 社 工 場
中 工 場 ・ 西 工 場



古紙含有率100%の再生紙
を使用しています。



環境にやさしい大豆インキ
を使用しています。



環境にやさしい水なし平版
印刷を採用しています。